

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



活用事例




概要	
学校名	勝浦市立上野小学校
活用方法	主体的な学びの実現を目指し、上野小学習プロセスを作成し実践している。特に国語科においては、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の単元において学習プロセスを作成し、単元づくりや授業実践に活用している。
成果等	学習プロセスを作成したことで、学習のめあてに合った言語活動を設定し単元計画を立てることができた。子供たちも、単元計画があることで、単元のゴールを見通して主体的に学習を進めることができた。

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを参考にして作成した上野小学習プロセス ＜各教科共通＞

	見いだす	自分で取り組む	広げ深める	まとめあげる
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問を書き出す。 ○課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較・分類する。 ○目的をもち、調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相似点と相違点を考える。 ○相手の話を最後まで聞き意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを順序よく書いたり、話したりする。 ○学習活動を振り返り記録する。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の事象から関連する疑問を結び付ける。 ○既習の内容や方法を振り返る。 ○課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結びつき・規則性に気付く。 ○目的に合った方法で調べる。 ○解決の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較分類、仮定して考える。 ○自分の考えと比較して聞き意見を述べる。 ○新たな考えに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを整理し筋道を立てて書いたり話したりする。 ○学習活動の成果と改善点を記録する。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の疑問から中心となる問題を絞る。 ○既習の内容や方法を振り返る。 ○課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見いだした規則性から類推する。 ○効率よく調べる。 ○自分の考えを形成する。 ○思いや考えを基に創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○類推・組み合わせで考える。 ○複数の話し手の意図をつかみ、要点をまとめ、組み合わせで意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えの根拠を明確にして書いたり話したりする。 ○学習活動の成果と改善点をその理由とともに記録する。

＜国語科における学習プロセス＞

	見いだす	自分で取り組む	広げ深める	まとめあげる
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を明らかにする。 ○音声や動画のモデルをもとに学習のゴールをイメージして見通しをもつ。 ○既習の内容や方法を振り返る。 ○学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音声・動画・原稿・話型等のモデルをもとに、話し方、聞き方を学習する。 ○生活体験や解決したい身近な課題から話題を設定する。 ○情報の収集をする。 ○自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表現活動のモデルをもとに進め方の確認をする。 ○立場や根拠を明確にしながら、自分の意見を言う。 ○友達の意見を聞いたたり、質問したりすることで、考えを広げる。 ○自分の考えと友達の考えとの共通点や相違点に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○出た意見や広がった考えを整理する。 ○それぞれの意見を生かして新たな提案をする。 ○話し合ったことを全体で共有し、感想を伝え合う。 ○学習活動を振り返り、学びがどこに生かせるかまとめる。
読むこと(説明的文章・文学的文章)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を明らかにする。 ○表現活動のモデルをもとに学習のゴールをイメージして見通しをもつ。 ○既習の内容や方法を振り返る。 ○学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文を読み、要旨やあらすじ、登場人物などについて捉える。 ○表現活動に必要な情報を主体的に読む。 ○自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と交流する中で、自分の考えを広げたり、深めたりする。 ○読み取った情報をもとに、表現活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と感想を伝え合う中で、読み方や表現の良さなどに気付く。 ○表現したものを家族や他学年にも読んでもらい、感想をもらう。 ○学習活動を振り返り、学びがどこに生かせるかまとめる。
				
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を明らかにする。 ○表現活動のモデルをもとに学習のゴールをイメージして見通しをもつ。 ○既習の内容や方法を振り返る。 ○学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文を読み、書くことの様式に応じた段落構成や構文などを学ぶ。 ○目的に沿って書くための情報を集める。 ○構成メモを作り、段落ごとの内容を検討する。 ○様式に応じて文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書いたものを読み合う。 ○ペアやグループで、意見や情報を交換する。 ○交流後、得た情報を吟味し、清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と感想を伝え合う中で、表現や構成の良さなどに気付く。 ○書いたものを家族や他学年にも読んでもらい、感想をもらう。 ○学習活動を振り返り、学びがどこに生かせるかまとめる。

「書くこと」の授業実践（第3学年 国語科）

単元名 組み立てにそって 物語を書こう

教材名 たから島のぼうけん

<見いだす>

○見通しをもって学習に取り組めるようにするために、学習計画を立てる。

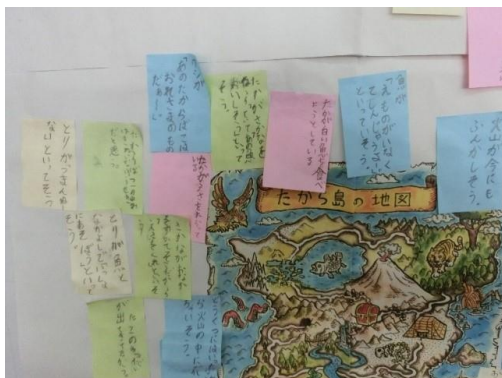
○モデルを読み、学習のゴールをイメージする。



学習のゴールを示し、創作への意欲を高めるための教師モデル

○絵地図を見ながら想像したことを自由に付箋紙に書く。

○付箋紙を絵地図に貼りながら、グループで想像したことを話し合うことで、新たな考えをもったり、イメージを広げたりする。



登場人物の性格や出来事を自由に想像し、絵地図に貼っていく。



少人数グループでの話し合いの様子

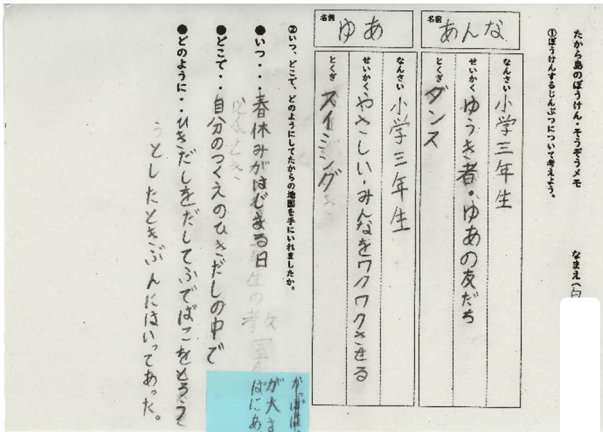


地図から想像したことを、グループごとに発表し、みんなで共有する。



＜自分で取り組む＞

- 自由に想像したことから書くことを選び、物語のおおまかな内容を考える。
- 「始め」「出来事が起こる」「出来事が解決する」「むすび」の構成に沿ったワークシートを使って、組み立てを考える。
- 「言葉のたから箱」や国語辞典を活用し、場面の様子や人物の気持ちの描写に用いる言葉を工夫する。
- つなぎ言葉や構成に注意し、段落や場面のつながりを考えて物語を書く。

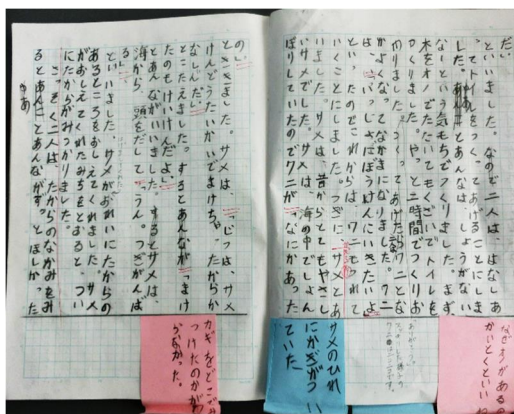


自由に想像したことから書くことを選び、物語のおおまかな内容を考える。

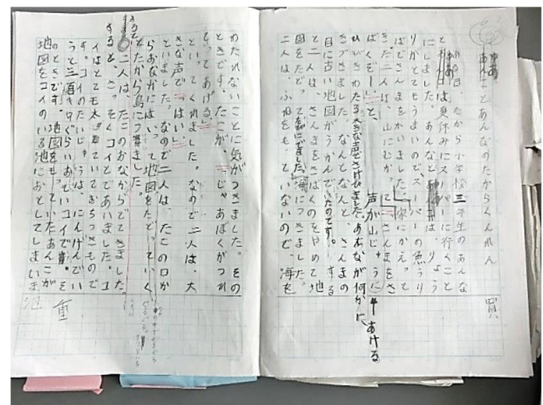
冒険のルートを決めるワークシート

＜広げ深める＞

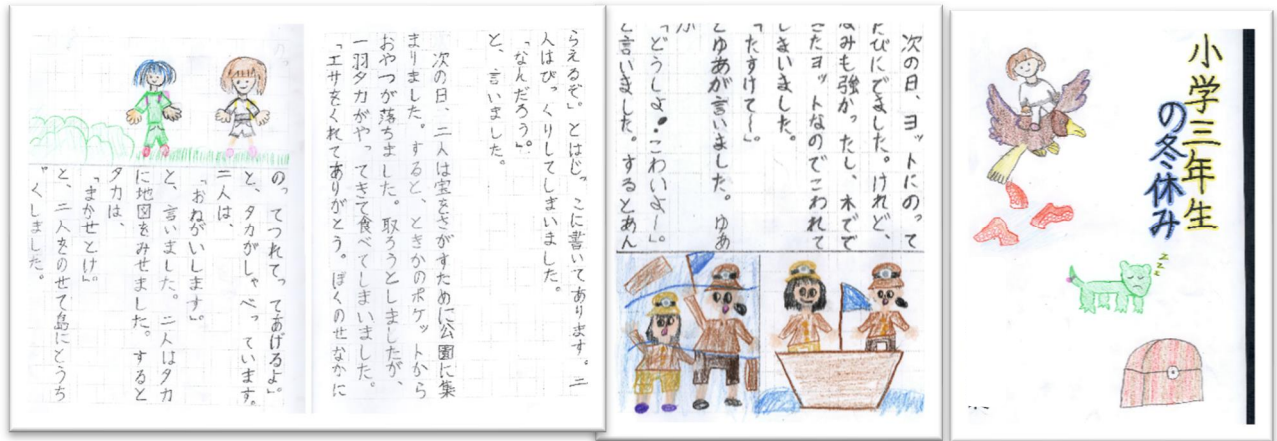
- 友達のアドバイスをもとに、ストーリーを練り直したり、よりよい表現になるよう加筆修正をしたりして下書きを仕上げる。
- 自分で作った物語を清書する。



友達のアドバイスが貼られたノート



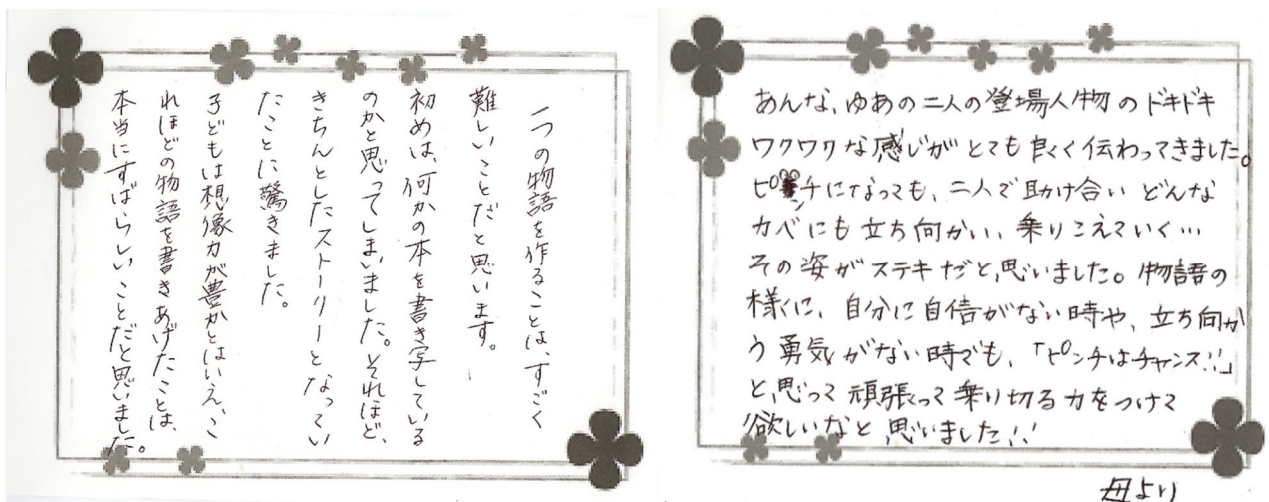
アドバイスをもとに加筆したノート



児童が書いた冒険物語

<まとめあげる>

- 自分の作品を友達や保護者などに読んでもらい、感想をもらう。
- 「面白い物語になるように、どのような工夫がされているか」「友達の作品のどんな点がよかったか」といった観点をもって友達の作品を読む。
- 学習を通して、できるようになったことや分かったことを振り返り、自分の言葉でまとめる。



保護者からいただいた感想

<並行読書>

児童がこれから書く物語のイメージをもったり、冒険物語に使える語彙などを知ったりすることができるように、単元に入る前から、冒険物語やファンタジー作品を手にとって読むことができるコーナーを教室に設けた。

また、冒険物語を書く際に使える表現や物語の展開をメモするカードを用意し、読書をしながら記入できるようにした。



〔ぼうけん物語コーナー〕